

# 2018Japan National Team Report ” サポーター”



報告者氏名	出口 育代 (出口愛海・母)
大会名	アジア・オセアニア選手権
開催地	ミャンマー連邦共和国
大会期間	2018年11月10日～11月17日

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について

このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	気温も湿度も高く、大会前半は、よく雨が降りました。風も弱めな日が多く、レース実施が心配でした。砂浜かの出艇で、波打ち際にはミャンマーの方たちのサポートを受けての出艇でした。(そこは各国のサポートは不要とのことでした。)
宿泊場所	グエンサンヨットクラブリゾート。とても素晴らしいロケーションのホテルを提供していただき、感謝しております。サポーターも選手たちと近い宿泊を用意していただき、選手の様子を見ることができました。食事はバイキング形式でしたが、日々違うメニューを工夫してくれていました。ナンプラーやパクチャーを使ってある料理には、なかなか選手たちは手が出ない様子で、コックさんが目の前で焼いてくれるワッフルや、中の具材を選んで焼いてくれるオムレツなどを好んで食べたようでした。
大会のサポーターへの対応は	芝生の中にテントや椅子を用意していただき、快適に過ごせるよう配慮していただきました。クリーニングの70%ディスカウントや、飲み物も大会価格での提供でした。また、ミャンマー衣装を着せていただいたり、ぞうが砂浜にきてくれたりなど、ミャンマーの文化にふれられるような機会をたくさんいただきました。
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか？	初めは皆、緊張した様子でしたが、後半は疲れが出ている様子でした。ですが、大きく体調を崩してしまったり、極端に食欲がなくなる選手はなく、一生懸命がんばっていました。みんな仲が良く、食事時は楽しそうに話しながらいることが多かったです。
サポーターとして気をつけたことは？	とても暑かったので、補給分の水筒や、無料配布のあったポカリスエット、水などを多めにコーチボートに積んでもらいました。陸で出艇準備の時も、水分補給の呼びかけを心がけました。

海外の選手を見て感じたことは？	英語が堪能な選手が多く見られ、積極的に他国選手と交流している様子が印象的でした。 日本選手よりも、食事時に様々な料理に挑戦している選手が多かったです。
日本の選手を見て感じたことは？	英語がなかなか出てこない選手が多い様子でしたが、積極的に他国選手と交流しようとする姿が素敵に思いました。閉会式ではミャンマーの選手たちが踊りを披露してくれましたが、友達になった選手たちだ！と、日本選手たちが前に出て写真を楽しそうに撮っている姿が素敵に思いました。 また、今大会で特に強い選手の多かったタイの選手たち競技を見て、課題を見つけている様子がかげえました。
Spare day の過ごし方は？	今大会では、残念ながらありませんでした。
日本チームとしての課題はありましたか	今大会は、とても暑かったので、沖ではウイダーインゼリーなどが好まれたようでした。海上では暑い中でも戦い続けられるように、できるだけ様々な種類の食べ物を食べられる練習ができるといいなと思いました。
JODAへの要望	とても素晴らしい環境の中でのレースに参加させていただいたことに、とても感謝しております。 ありがとうございました。
その他	

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会